

母子3人がステロイド中止後の強い症状を経て生活上の支障が軽減した家族性アトピーの経過 (38歳女性・9歳女兒・5歳男児)

症例 ID：001-30-YM

記録日：2015年6月7日

1. 診断・治療前経過

2010年秋、長女と長男に赤い湿疹が続き、皮膚科でステロイド外用薬を処方されました。約2か月使用しましたが悪化し、中止後に長男は高熱と強い皮膚症状が続きました。

2011年2月に家族で松本医院を受診しました。治療開始後は母親にも湿疹が出て、母子3人で治療を続けました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	長女と長男の皮膚症状にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	約2か月です。
中止時期	2010年末～2011年初めです。
来院前／後	来院前に子ども2人が使用しました。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2010年秋	来院前	長女と長男に湿疹が続き、ステロイドを約2か月使用しました。
中止後	急性悪化	長男に高熱と強い皮膚症状が出ました。
2011年2月	治療開始	家族で松本医院を受診しました。
開始1～3日	長男の変化	発熱が下がり、浸出液と剥がれかけた皮膚に変化がみられました。
開始3か月	家族の症状	母親にも湿疹が出て、長女にも従来の薬剤中止後の強い症状が出ました。
開始6か月	母親の経過	母親の主婦湿疹がみられなくなり、手荒れが起こりにくなりました。
開始約1年	長女の経過	顔の強い赤みと落屑が続きました。
開始約3年	子どもの変化	長男は指先を除いて皮膚が整い、長女の関節部の赤みも消えていきました。
2015年	検査・生活変化	血液検査が正常範囲となり、薬を減らせる状態となりました。

4. ピーク時期

ピークは、長男がステロイド中止後に高熱と全身の強い皮膚症状を呈した時期と、長女が顔の赤みと落屑で別人のように見える状態となり、約1年間強い症状が続いた時期です。

5. 困りごと

- ・長男の高熱と全身症状により、家族で処置を行う必要がありました。
- ・母子3人で毎日長時間の入浴処置を続けました。
- ・長女の顔面症状が約1年間強く続きました。

6. 経過のまとめ

母親は治療開始約6か月後に主婦湿疹がみられなくなり、洗剤に触れても手荒れしにくくなりました。長男は約3年後に指先以外の皮膚が整い、長女も関節部の赤みが消えていきました。

2015年には血液検査が正常範囲となり、煎じ薬や外用処置を減らせる状態となりました。